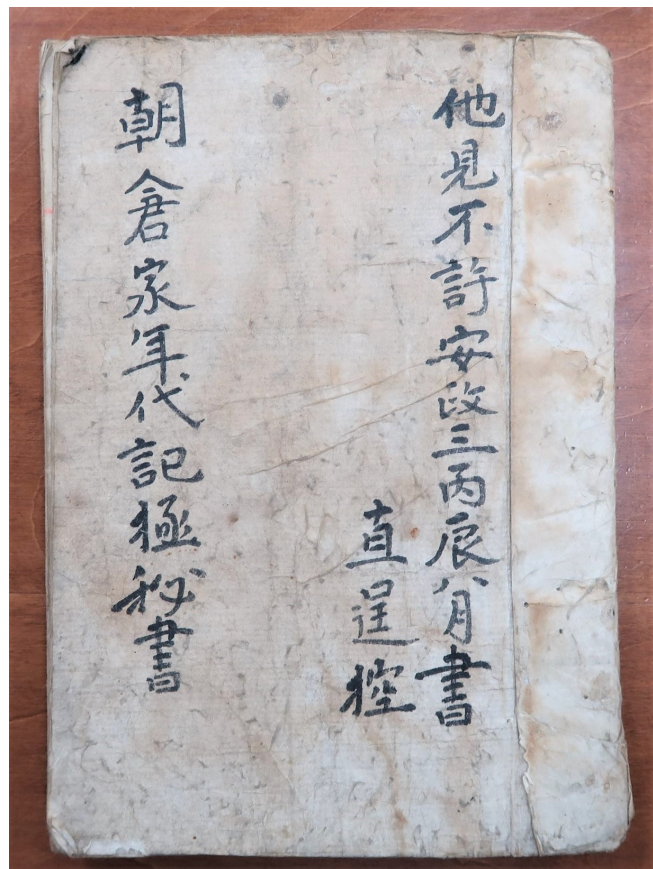


徳山藩士朝倉家の文書

～御絵師、献功隊士～



- ◆令和4年度、朝倉家文書134点をご寄贈いただきました。
- ◆朝倉家は、江戸時代、徳山藩の絵師として活動しました。歴代徳山藩主の肖像画や「花岡八幡宮御祭礼絵馬」(下松市有形民俗文化財)を描いた4代南陵(光世)、および5代震山(震陵)が有名です。
- ◆幕末期の6代光業(練治)は、文久3年(1863)、徳山藩兵の一員として長州藩兵とともに上京し、同年八月十八日の政変を経験したほか、明治初年には徳山藩諸隊「献功隊」の隊士として箱館五稜郭の戦いに参戦するなど、兵士として活躍しています。
- ◆このような歴史を反映して、朝倉家文書は、徳山藩絵師としての活動を示す文書が残る点とともに、献功隊に関する文書がまとまって残ることも大きな特徴です。
- ◆今月はこれら朝倉家文書を紹介します。前半は絵師としての活動に関わるもの、後半は献功隊に関するものを中心に展示します。



当館が所蔵する唯一の朝倉南陵作品

令和4年度、重富家文書を御寄贈いただきました。この中に「竹図（仮題）」2枚があります（上記写真）。「年甫 八十八南陵画」とあり、朝倉南陵の最晩年、天保14年（1843）〈南陵は同年88才で死去〉の作品であることがわかります（もと襖絵か）。当館が所蔵する唯一の朝倉南陵作品です。

南陵は、花鳥、山水、動物、人物画など多彩な作風で知られています。昭和60年（1985）の調査では134点の作品が確認されています（小川亘著『周南風土記』第3章参照）。

譜 録 (朝倉家3~9)

朝倉家が徳山藩へ提出した「譜録」の控です。初編（寛政元年〈1789〉提出）から五編（明治3年〈1870〉提出）までが残ります。同書「職務之部」からは、4代南陵が文政13年（1830）に歴代藩主肖像画7幅の作成を命じられたこと、文化3~10年（1806~13）、伊能忠敬の全国地図作成事業に関わり、藩内各地の地図作成を担当したことがわかります。

朝倉家年代記極秘書 (朝倉家2) / 安政3年

保延5年（1139）から明治36年（1903）にいたる朝倉家の出来事を記した年代記です。朝倉家の歴史を知る上で便利な記録です。上段に社会（藩内）の出来事、下段に朝倉家の出来事が記されています。5代震山（直暹）が安政3年（1856）に作成し、のち明治36年（1903）まで書き継がれました。

平忠度像下絵 (朝倉家78) / 武者像下絵 (朝倉家76)

朝倉家文書に残る作品の下絵です。「平忠度（ただのり・清盛異母弟）像下絵」は、文久3年（1863）5月、鳥羽氏の依頼で作成した絵馬の下絵、「武者像下絵」は、弘化3（1846）年5月、栗屋氏が増野氏へ贈る「初端午昇進物」（初節句のお祝いに贈るのぼり旗）のために描いた下絵のようです。依頼した鳥羽氏・栗屋氏はいずれも徳山藩士でしょう。

阿蘭陀油絵具之法伝書 (朝倉家67) / 文政7年（1824）

文政7年（1824）、長崎の絵師原南嶺斎（1771~1836）が5代震山へ油絵具の製法を伝えた書状です。原南嶺斎は自ら「蛮画師」と称するほど油彩画を得意とした絵師でした。原は「製法はたとえ親子であっても伝授は堅く無用に願います」と述べており、秘伝の製法であったことがわかります。長崎と徳山の絵師のつながりを示す上でも貴重です。

※原南嶺斎についてはWEBサイト・UAG美術家研究所（<https://yuagariart.com/uag/nagasaki12/>）を参照しました。

献功隊諸控(朝倉家34)／慶応4～明治2年(1868～69)

献功隊は徳山藩諸隊のひとつです。明治元年(1868)8月の結成後、10月に東北へ隊を進め、翌2年4～5月の箱館五稜郭の戦いに加わりました(3年6月廃隊)。「献功隊諸控」には隊士の名簿、隊への通達、隊の動向などが記録されています。

献功隊奥羽蝦夷出張中風説(朝倉家35・36)／明治2年(1869)

「献功隊奥羽蝦夷出張中風説」も献功隊に関する重要史料のひとつです。隊が参戦した箱館五稜郭の戦いのようすを詳しく記しています。戦死者・負傷者の記録もあり、負傷者は絵入りで説明されています。また、彩色の「蝦夷地江刺招魂場之図」「箱館略図」や「五稜郭之図」なども収録されています。

献功隊袖印(朝倉家37)／明治元年(1868)カ

献功隊士として活動した光業(練治)の袖印(そでしるし)も残されています。袖印は、戦場で敵味方を見分けるため兵士が軍服の袖に付けた布片です。所属と氏名が「徳藩 朝倉練治源光業」と記されています。

砲車前面後面布列之図(朝倉家70)

大砲の運用方法、砲兵の動きなどを図示したものです。表紙に「朝倉練治写」とあります。献功隊に関わって光業(練治)が書き写し、大砲の運用マニュアルとして使われたものではないでしょうか。